



2020年度 山県市教育センター要覧

今こそ、「チーム学校・チーム山県」でこの難局を乗り切る

山県市教育センター 所長 日置 智夫

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ここ数ヶ月小中学校は臨時休業となっています。私たち学校の教職員だけではなく、世の中の全ての人々がこれまで経験したことのない危機感を感じ、どうすればこの状況を乗り切れるかを模索しています。多分、我々の祖先は、今までに幾度となくこのような難局に直面し、人間の知恵を結集して乗り越えてきたと考えます。今回の新型コロナウイルス感染症も、この知恵によって必ず乗り越えることができるはずです。それだけ人間の知恵というのは偉大であると確信しています。

① 学校の再開に向けて

昨年度の3月より、全ての学校が臨時休業中の児童生徒の生活や学習について、様々な支援を行っています。それは、家庭訪問や電話連絡、そして授業動画の配信や学習プリントの配付などです。まだまだ、この状況は続いています。学校再開時に全児童生徒が「やっぱり学校は楽しい。」と笑顔で言えるように、児童生徒との関係を途切れさせず、学校組織全体で様々な支援の工夫をしてください。

② 今こそ働き方改革について考える

この難局により、学校に関わる行事や研修などが簡略化されたり、中止や延期されたりしました。また、必要な会議はテレビ会議システムで行っています。1年前では考えられなかったことです。このことから、今は本当に必要な行事や会議、研修は何か、不要なものは何かを再検討する機会でもあります。「今まで行っていたから今年もやる」ではなく、「児童生徒のため」を第一に考えた積極的な改革を考えてください。

③ 教職員全員が大切にしたいこと

全ての学校で学校再開時には、これまでの学習の遅れをどうするか、さらには、感染防止のための対応をどうするかという課題があります。市教委からは、対応についての指針的なものは発出しますが、実行するのは各学校です。校種や学校規模、地域性の違いにより、簡単にできることと困難なことが学校によって違うことが考えられます。しかし、どの学校でも共通なことは「子どもの命を守りきる」ことです。私たちは、職場や立場の違いはありますが、このことは誰もが共通です。山県市立学校に在籍する全ての教職員が、自らの勤務の根本にしてください。

学習指導要領に込められた願いの一つに「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し幸せを実現してほしい」とあります。子どもたちにこうした力を付けるためには、まず私たち教職員がそうであらねばなりません。

「いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ」

「10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ」

2020年度 教育センター事業

I 研 修

< 1 基本研修 >

	名 称	内 容	対 象	期 日
1	歴史探訪	山県市に初めて赴任する教職員が、文化遺産等について学び、教育に生かす。	新赴任者(悉皆) +希望者	7月 予定
2	初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用職員 (事務・栄養含む)	6/30 10/20
3	学習支援員・教育サポーター・英語活動支援員等研修会	児童生徒への具体的な支援のあり方や、支援者としての資質向上を図る。	学習支援員 英語活動支援員 教育サポーター +希望者	5/12 10/19
4	英語教育推進委員および英語活動支援員研修会	英語活動支援員として、授業での具体的な支援のあり方や資質向上を図る。	英語教育推進教師 英語活動支援員 +希望者	5/8 12/10
5	図書館主任 読書指導員研修会	図書館主任・読書指導員としての職務及び読書指導の研修。 * 2回目は、読書指導員のみが参加	図書館主任 読書指導員 +希望者	6/3 7/8
6	特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーターとしての資質の向上を図る。	特別支援教育コーディネーター +希望者	6/5 11/6
7	教育相談担当者研修会	児童生徒の自立支援のため、教育相談体制の充実や教職員の教育相談に関する資質・能力の向上を図る。	生活・教育相談員 学校教育相談担当者 +希望者	5/20 10/2
8	学力向上推進会議	各校の学力定着等の取組状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。	学力向上推進教師	10/28 3/11
9	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	情報教育推進委員	5/19 2/16
10	学校人権教育 推進委員会	児童生徒及び教職員の人権感覚を高め、人権教育の推進及び充実を図る。	人権教育担当者	5/21 2/8



< 2 選択研修(新研修システム対象講座) >

	名 称	内 容	対 象	期 日
選 択 講 座	スクールワイド PBS (積極的な行動支援)	学校全体で取り組む「積極的な行動支援」 講師 岐阜大学 平澤 紀子 教授	希望者	未定
	防災科学教育	防災への理解と対応	希望者	未定

II 調査・研究

	名 称	内 容	対 象	期 日
11	教育実践論文・実践 記録・自作教具	教育実践論文を募集し、主体的な研究実 践を奨励する。	教職員	審査会 1/13
12	社会科副教材 作成委員会	社会科の教科書の内容に合わせ、市の文 化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	4/21 6/10 7/22 8/25 10/21 1/12
13	プロジェクト研究 ※新規	子どもたちの主体的な学びにつながる教 材開発等を行う。	研究員を委嘱	年数回程度

III 情報収集・発信

事 業 名	事 業 内 容
教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
図書(児童・教師用)等の貸出	センター蔵書(含:大型絵本,教科書)
テラステーション (データ管理)	スタートカリキュラム, 国語作品集 社会科副読本, 市教研・校内研の授業案, 公表会案内 プロジェクト研究等
廃棄図書活用	各学校で廃棄処分とした図書を施設で活用
拡大コピー(白黒・カラー)	大型掲示 垂れ幕等
情報交流会(生徒指導・教育相談)	支援を必要とする各校の実態を共有し、個に応じた支援の 充実を目指す。(エリア担・主幹・次長・SSW・主任学支・主幹 教諭・教育相談員) 5/29 7/31 9/25 11/26 2/25

IV 教育相談

<適応指導>

趣旨 困り感のある児童生徒に対し指導・援助を行い、自立を支援することによって、学校生活への復帰を図る。

① 生活指導員による支援（長期休業中を除く）

「コスモス教室」（適応指導教室）

美山教室 山県市教育センター内 TEL：52-1571

月曜日・木曜日 9時00分～15時30分（基本）

高富分室 高富中央公民館 TEL：52-1571（センター受付）

火曜日・水曜日・金曜日 9時00分～15時30分（基本）

② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ、教育相談員を派遣し教育支援を行う。（現状：高富中、美山中）

<電話相談>

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し、適切な支援を行う。

窓口 教育センター「コスモス」 TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 9時00分～15時30分

V 児童生徒対象事業

事業名	事業内容	期日
夏休み作品相談	電話で相談を受け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を図る。	夏期休業中
夏休み作品展・表彰式	優れた作品の表彰を行うと共に作品展示を行い、教科学習の促進を図る。	9/4～9/6
こどもの市展	作品（図工・美術・書写）のもつよさや美しさに触れ、表現意欲を高める。	11/5～ 11/29
子どもの作品	各校の作文・詩・感想文等、優れた作品をテラステーションにアップし、その作品を活用して児童生徒の表現力を高める。	随時

※「こどもの市展」は、R2年度から花咲きホール担当事業となりました。

VI 貸出物品

	物 品 名
教材教具	プロジェクター スクリーン 譜面台
野外活動関係	キャンプファイヤー関係 野外炊事調理器具 キャンドルサービス用具等 もちつき用具 (臼, 杵) 焼き杉用具
図 書	小中学校の検定教科書 (各社) 過去の教科書 センター図書 (教職員用・児童生徒用) 小学校回覧 (大型絵本・紙芝居)
諸検査用具	W I S C - III (知能検査器具・知能検査記録紙) W I S C - IV (知能検査器具・知能検査記録紙) W I S C - IV検査説明書 グッドイナフテスト (ハンドブック・記録用紙) デジタル騒音計 照度計



センター職員

所 長（学校教育課長）	日置 智夫
次 長	河村 一彦
主任教育相談員(市スクールソーシャルワーカー)	棚橋 亮治
主任学習支援員(主任特別支援教育コーディネーター)	神山 基子
センター事務	佐村 光仁
主 幹（学校教育課）	長谷川 寛典
主 幹（学校教育課）	鷺見 亮
課長補佐（学校教育課）	高橋 茂洋
総括主幹（生涯学習課）	大西 昭弘
主 幹（生涯学習課）	藤根 勝

教育相談員（中学校『教育相談室』）

高富中：井藤 康子・鷺見 顕

美山中：菊地 昌代

生活相談員（適応支援教室『コスモス』）

村瀬 文・北洞 雅子・白田 佑里奈・清水 由美子

<生涯学習課の関係>

放課後子ども教室コーディネーター

山田 立晴・横山 数馬

未来塾コーディネーター(中高校生への学習支援)

野澤 宏邦

体育協会事務局

谷端 良夫

スポーツ少年団事務局

佐村 光仁（センター事務が兼務）

児童・生徒の健やかな成長

教職員のスキルアップ

- 新規事業
- ・「山県市立学校共同研修会」自主参加型の選択制研修システム
 - ・「プロジェクト研究」（新たな教材開発）の立ち上げ

- 強化事業
- （SSW・主任学習支援員の積極的利活用）
 - ・通常学級における支援の必要な児童生徒への対応
 - ・学校のケースワーク力（教育と福祉をつなぐ）向上の支援
 - ・いじめや自死の未然防止への対応



沿革

- 平成15年度 * 山県市教育センター設置
- 平成16年度 * センター次長配置
* 相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
* 山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
* センター広報紙「いしずえ」初版発行
- 平成17年度 * 新規15事業開設
- 平成19年度 * 事業の整理統合, 新規2事業(学校教育)
- 平成20年度 * 事業の整理統合, 新規7事業(教職員研修)
- 平成21年度 * 学校地域支援本部との連携
- 平成22年度 * センター移転(旧富波小学校へ)
* 適応支援教室『コスモス』統合
* 大研修室にエアコン設置
- 平成23年度 * 主任教育相談員, 主任学習支援員配置
* 2階研修室にエアコン設置
- 平成28年度 * 山県市体育協会事務局を教育センターに配置
- 平成29年度 * 主任学習支援員に代わり, センター学習支援員配置
* 10月 『コスモス分室』を, 高富中央公民館内に設置
- 平成30年度 * 「課後子ども教室」(ステージイベント)コーディネーター配置
- 平成31年度 * SSW(スクールソーシャルワーカー) 配置
- (令和元年度) * 「地域未来塾」コーディネーター 配置



山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地
 TEL 0581-52-1007
 FAX 0581-51-0030
 E-mail k-center@yamagata-gifu.ed.jp